

ガラステクニカルフォーラムに参加して

森木義隆、川崎竜馬

工学研究科・工学部技術部 装置開発技術系

はじめに

公的機関のガラス技術者でガラス工作技術シンポジウムという集まりを2～3年に1度の頻度で開催している。しかし、開催間隔が開きすぎるということで小規模のフォーラムを開催しようということに至った。このフォーラムの趣旨はガラス技術者が日常業務で携わっている技術的教育研究支援活動について更なる技術力向上のため、オープンフォーラムと討論会を通じて技術研鑽を行うためのものである。その内容について報告する。

1. 概要

平成21年7月31日、大阪府立大学中百舌鳥キャンパス 工学研究科 生産技術センターにて実施されたフォーラムに参加した。主な内容はオープンフォーラム（ガラス関連の講演）、学内施設見学とフォーラム（ガラス技術者討論会）である。日程、内容については以下に示す。

日程	内容
7月31日（金）	<p>【オープンフォーラム】 ガラス関連の講演（10:00～12:00）</p> <ul style="list-style-type: none">・ ガラス加工40年の歩みとガラス技術者へ期待すること 講演者：名古屋大学GCOE研究員 野田敏昭・ 石英ガラスの種類と製造方法、用途について 講演者：サンクォーツ株式会社 代表取締役 元重正洋・ 各種ガラス機器を用いた光触媒研究の実例 講演者 大阪府立大学大学院工学研究科・化学系専攻応用化学分野 松岡雅也 <p>【学内施設見学】（13:15～14:45）</p> <p>【フォーラム】 ガラス技術者討論会（15:00～17:00）</p> <ul style="list-style-type: none">・ テーマ：「ガラス加工技術者の目指すところ」

2. 総括

フォーラムでは石英ガラスの知識について得ることができた。また研究におけるガラスの必要性などを改めて確認でき、参考となった。討論会では多く課題について議論する中で大学、一般企業が抱える問題（人員削減、後継者問題など）が浮き彫りとなり参考となった。今回のフォーラムで得られたこれらの知識、経験を活かして今後の業務に取り組んでいきたい。